

中部財界

第53巻・第1号

2010

新年号



**不況に生きる11人の
企業家の生き方と意見**

**「伊藤忠」の軍門に下る「ユニー」!?
「丸栄」存続の命運を握る「興和」
名古屋鉄道がホテルを売却した「神戸の会社」**

株式会社 平成

名古屋市中区錦三丁目7番5号 シャインシグマビル9階
TEL (052) 957-1020 FAX (052) 957-1030



ボディコート・ジャパン
ジュリアン・ベイショア社長

トップが
夢と志を語ることで
社員の士気も高まります

名古屋にボディコート・ジャパンを設立したジュリアン社長は社長業の傍ら在日米国商工会議所中部支部で活躍するほか「経営者ブログ」を開設し流暢な日本語で話す経済通としても知られている。日本進出を検討中の外資系企業に対して中部からの日本進出の利点を説く。

「目標はモノづくり文化に貢献していけること」弊社は二〇〇八年に初めて日本に営業拠点を設立致しましたが、その際に名古屋を選びました大きな理由の一つに、当地に古くから「モノづくり」文化が根付いているという点でございます。自動車産業や航空宇宙産業と密接に関わるビジネスの土壌が既にあるという点は、弊社日本市場への進出・拡大において大変魅力的であったことは言うまでもありません。それに加えて、中小企業を含む多くの地元企業が、それぞれの業界の生産過程において、密接に関わりあ

て行けることを目標としております。

いながら、日本を代表する産業を支えている当地で、弊社の持つ技術を提供することに

私ごとではありますが、先日NHK放送局様より密着取材を受ける機会に恵まれました。その取材インタビュー等の収録の際に、中部地区企業の多くの皆様に大変お世話になりました。言葉では感謝しきれないほどの、ご支援・ご協力を頂戴し、感動いたしました。これもやはり、地域全体が一体となりモノづくりに取り組んでいるという当地であったからこそではないかと思われました。

よりモノづくり文化に貢献し

【弊社が目指す将来的な展望】
まず、第一に弊社の誇る専門的サービスを日本国内の皆様にも更に知っていただけるよう、引き続きより一層の努力をして行きます。既に独自の



語る



ブドカー

7-223
2861

熱処理技能を持つ企業は日本にも多くあります。

その過程を弊社にアウトソーシングしていただくことにより既存の資源や高い技術をそれぞれのビジネスのコアな部分に集中していただくことが可能になります。弊社グループが世界中で行っておりますように日本国内でも一流の熱処理加工サービスを提供していくことで、相互の更なる事業発展を目指しております。その為にも日本国内に自社工場を構えることが必須であり、そのように計画しております。

「日本進出の利点をアピールしていくことが私の使命の一つ」まず初めに、弊社としましてはもちろんのこと、私個人としましては、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブの一員であることを大変誇りに思っております。

日本国内でもあまり知られていないようですが、このグレーター・ナゴヤと呼ばれる経済圏のGDPは世界

のGDPの1%を占めており、国別ランキング内でみると世界一八位に相当するそうです。

この様な素晴らしいビジネス環境の整った地域であるからこそ、弊社日本人の当地での設立もスムーズに行えました。多国籍企業の多くが日本進出を考える際にはやはりまず東京で法人設立をということが多いと思いますが、弊社はグレーター・ナゴヤ圏からの日本進出が有利であることの実例の一つとなっていくことで、GNIの活動にも貢献して行きたいです。

私は、在日米商工会議所(ACCJ)中部支部で渉外・広報委員会副委員長を勤めさせていただいておりますが、日本進出を検討中の米国企業には特に、グレーター・ナゴヤ圏からの日本進出の利点をアピールしていくことが私の使命の一つだと思っております。

また、先日、社団法人中部経済連合会への入会させてい

ただきました。英国企業としては初めての会員とのことで大変光栄に思っております。私個人としましては、中部圏の更なる経済発展のみならず国内外の重要課題に取り組んでいる団体の一員として貢献していかなくはと改めて決意いたしました。

「河村市政へ期待すること」

河村市長の「日本一早く不況から脱出し、経済復興する」という目標には大変期待しておりますし、実際に、この地であるからこそ可能なことだと信じております。また、名古屋版「緑のニューデール」産業政策というものを考えられているとのこと、個人的に、私の母国米国でも現政権がグリーンデール政策を進めていることもあり、注目しています。一つ、名古屋駅新幹線口のタクシー乗り場に関する事で河村市長に是非ともご検討いただきたいことがあります。小型車の乗り場は別れてあると思うのですが

名古屋では、近距離乗車専用の乗り場がありません。海外や国内他都市から名古屋を訪れる私の友人・知人からも聞くことなのですが、2km以下の近距離乗車を快く思わない運転手の方も多いそうで、長い列に並んだ後に乗車拒否にあたりというようなこともあるようです。新幹線口というところもあり、長距離乗車を見込んでいる運転手の方が特に多いということも納得できますし、反対に、名古屋に到着後すぐに乗ろうとしたタクシーで乗車拒否にあうという経験は、当地にとっても大きなイメージダウンであることは確かです。日本の地方自治体の中には、新幹線口や主要駅に近距離乗車場を別に設けることによりこの状態を解決したところがあると聞いています。是非、当地の更なるイメージアップの為にも、近距離乗車専用乗り場の採用をご検討いただければと思います。